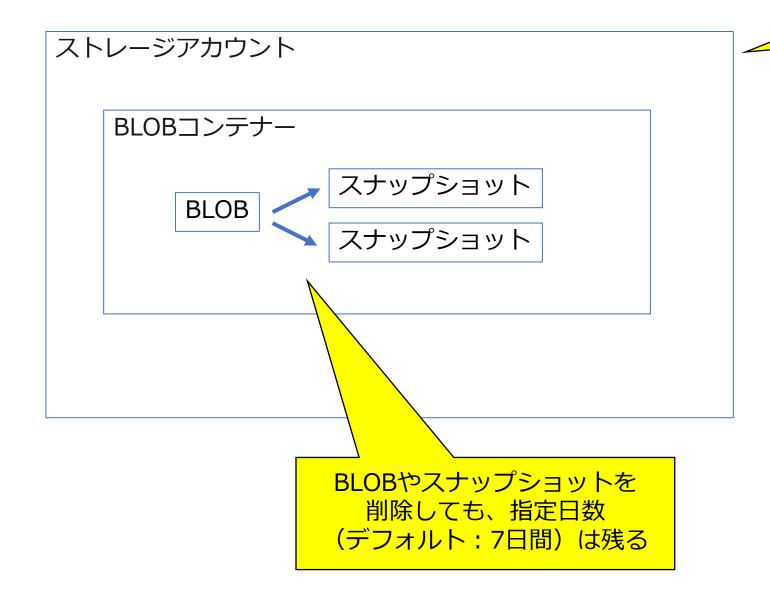


論理削除を有効化

※スナップショット: BLOBの、ある時点での 読み取り専用コピー。



π - Δ > Microsoft.StorageAccount-20201027143024 > test39742983742



test39742983742 | データ保護

ストレージ アカウント

Blob service

コンテナー

カスタム ドメイン

● データ保護

- 🚰 オブジェクト レプリケーション
- Azure CDN
- 📤 Azure Search の追加

File サービス

ファイル共有

₩ 保存 🗙 破棄

データ保護は、誤って変更または削除されたデータを回復するためのオプションを提供します。

復旧

コンテナーのポイントインタイム リストアを有効にする

ポイントインタイム リストアを使用して、1 つまたは複数のコンテナーを以前の状態に復元します。ポイントインタイム リストアを有効にする場合は、バージョン管理、変更フィード、BLOB の論理的な削除も有効にする必要があります。 詳細情報 ☑

X

✓ BLOB の論理的な削除を有効にする

論理的な削除では、上書きされた BLOB を含め、以前に削除とマークされた BLOB を回復することができます。 詳細情報 ♂

削除した BLOB の保持期間 (日数) ①

7

コンテナーの論理的な削除を有効にする

論理的な削除では、以前に削除とマークされたコンテナーを回復することができます。 詳細情報 ♂

・ コンテナーの論理的な削除を利用するには、サブスクリプションごとにオプトインする必要があります。
コンテナーの論理的な削除にオプトインする ♂



プロパティ

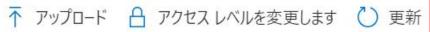
1 メタデータ



 \times



▶ 検索 (Ctrl+/)



削除

⇄ 層の変更 💋 リースの取得 …

X

| 概要

% アクセス制御 (IAM)

設定

プクセス ポリシー

プロパティ

1 メタデータ

BLOB の削除

選択した BLOB を削除しますか?

- 1. リース状態の BLOB は削除がロックされているため、スキップされます。
- 2. フォルダーの削除はサポートされておらず、選択されたフォルダーはすべてスキップされま す。フォルダーを削除するには、その中のすべての BLOB を削除してください。
- BLOB スナップショットも削除する

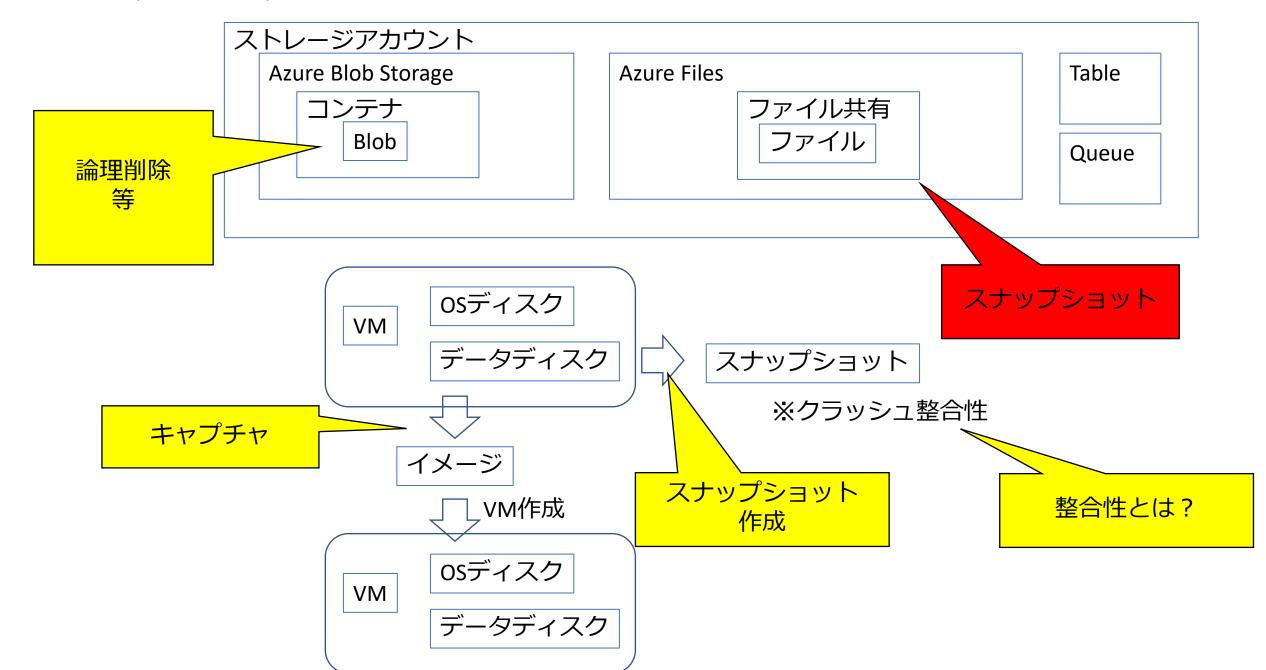
キャンセル



1 メタデータ

π - Δ > Microsoft.StorageAccount-20201027143024 > test39742983742 >







ウ スナップショット

🔗 バックアップ

ホーム > ストレージ アカウント > cs11003200103227df2 > pets >

pets (2020-12-18T04:09:41.0000000Z)

ファイルを読み取りできる

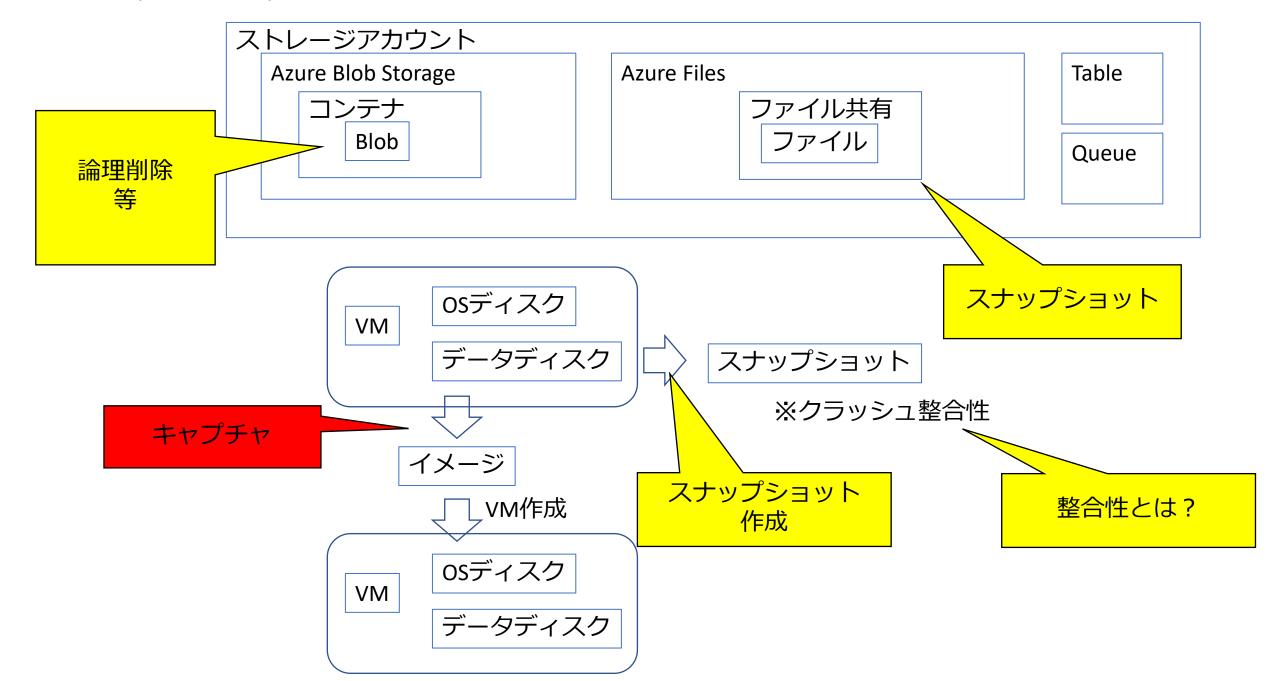
ファイル共有のスナップショット



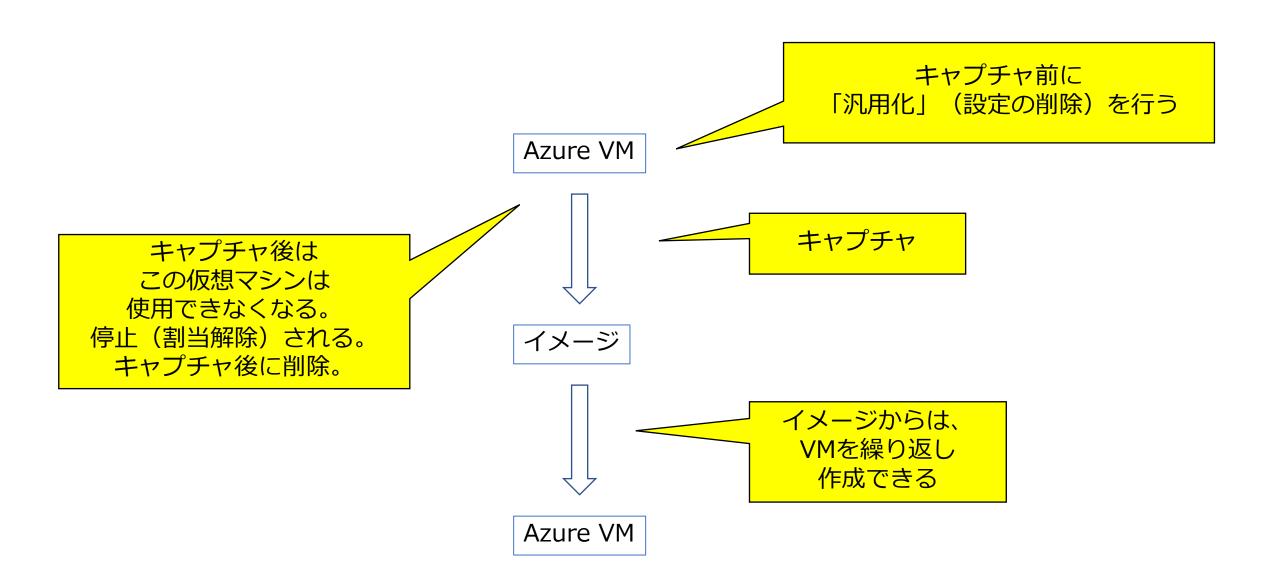


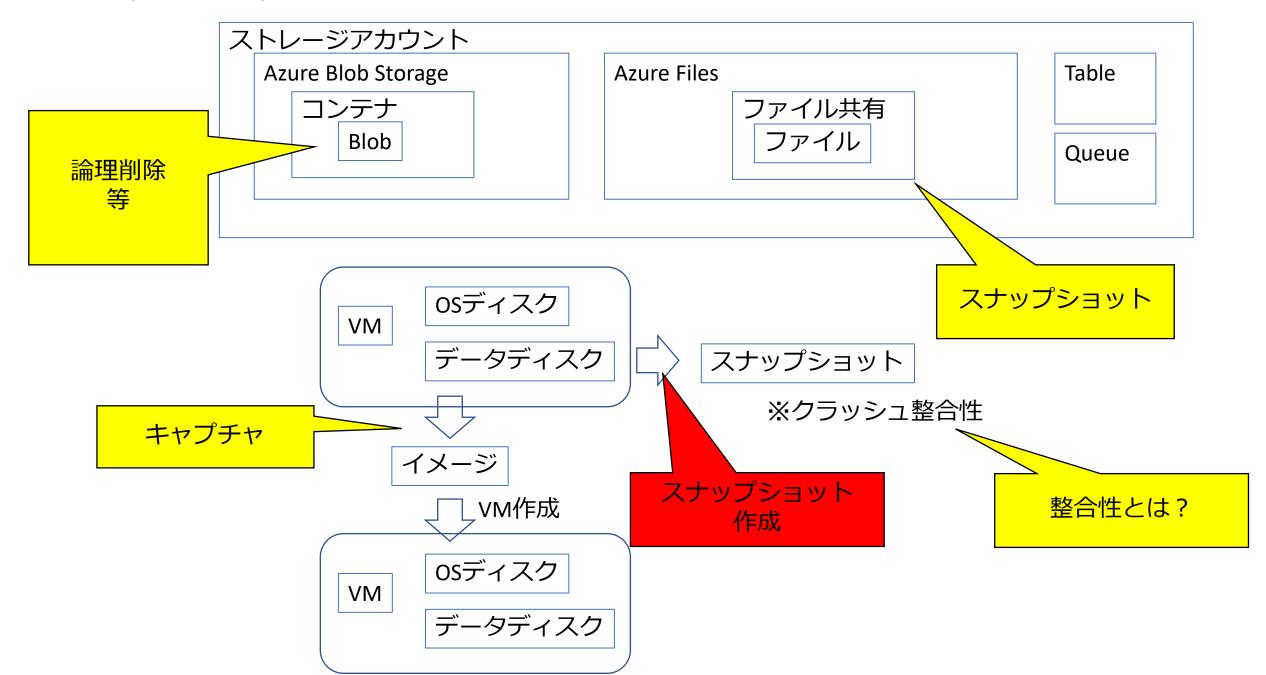
Ø 接続 ○ 更新 ※ プロパティ

<i>り</i> プレフィックスでのファイルの検索			
名前	種類	サイズ	
a cat - ⊐ピ−.jpg	ファイル	5.77 KiB	•••
at.jpg	ファイル	5.77 KiB	• • •
Thumbs.db スナップショ	ファイル <mark>ット内の</mark>	12.5 KiB	• • •

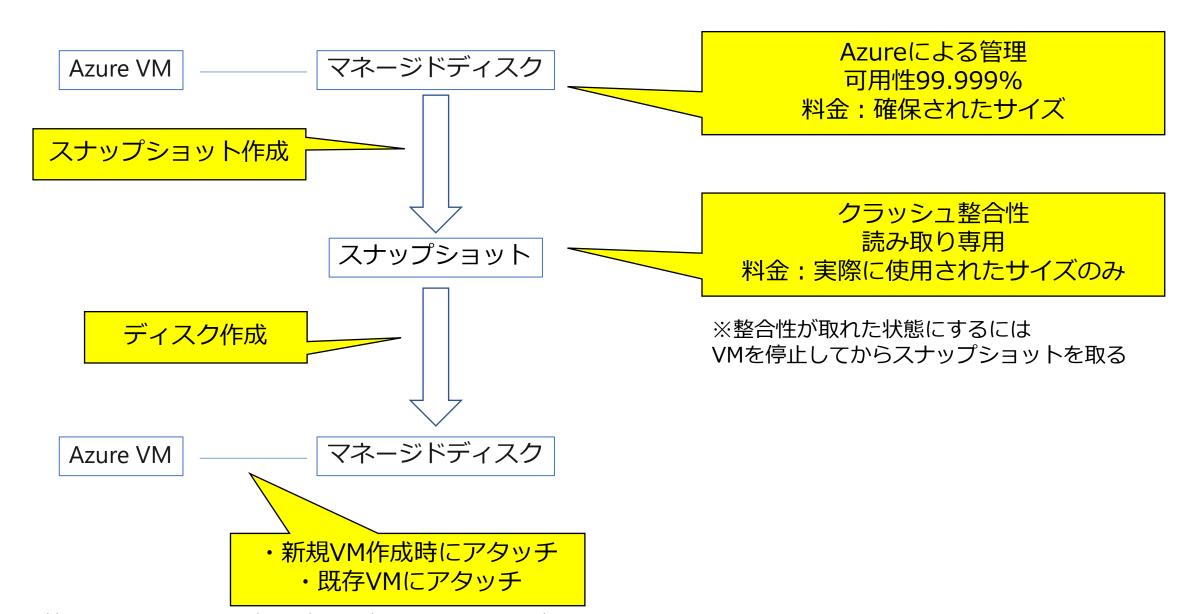


※イメージの格納のための ストレージアカウントやRecovery Servicesコンテナーは不要

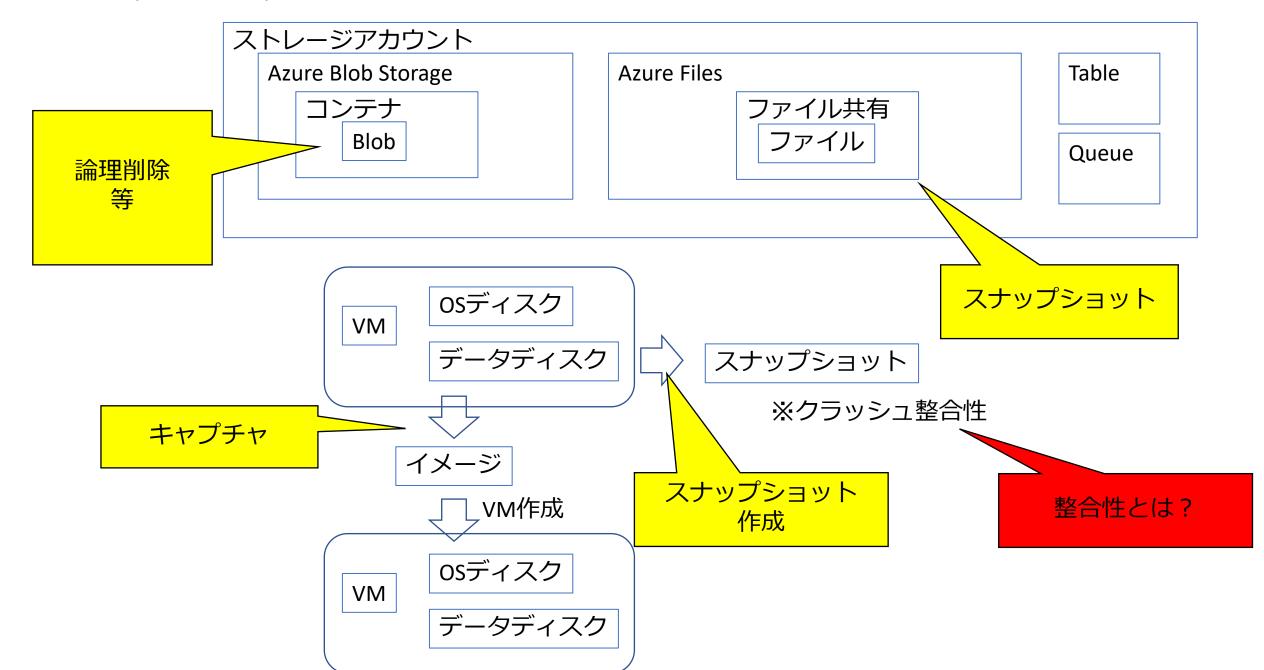


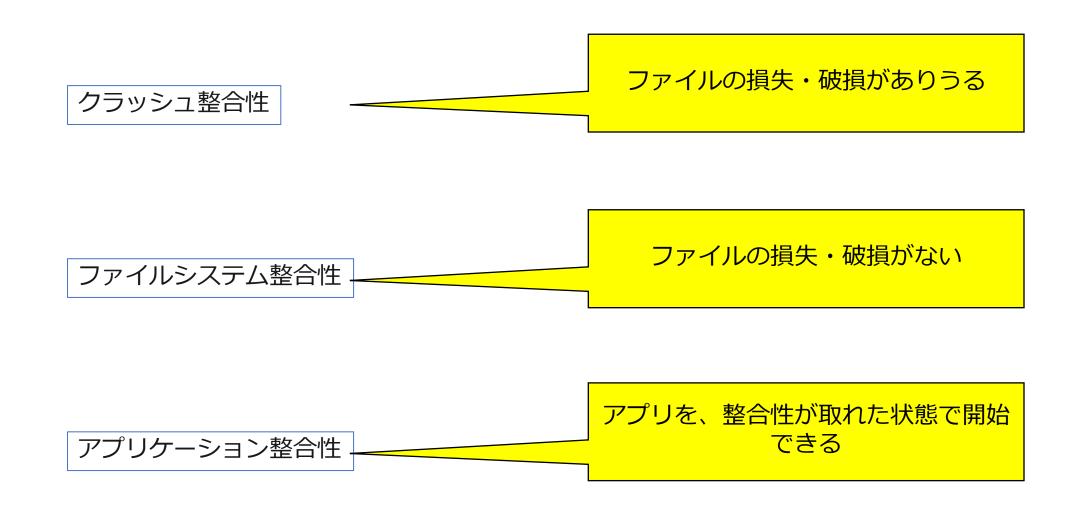


※マネージドディスクとそのスナップショットには ストレージアカウントやRecovery Servicesコンテナーは不要



https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/virtual-machines/managed-disks-overview#managed-disk-snapshots





Azure Backup



Azure Site Recovery







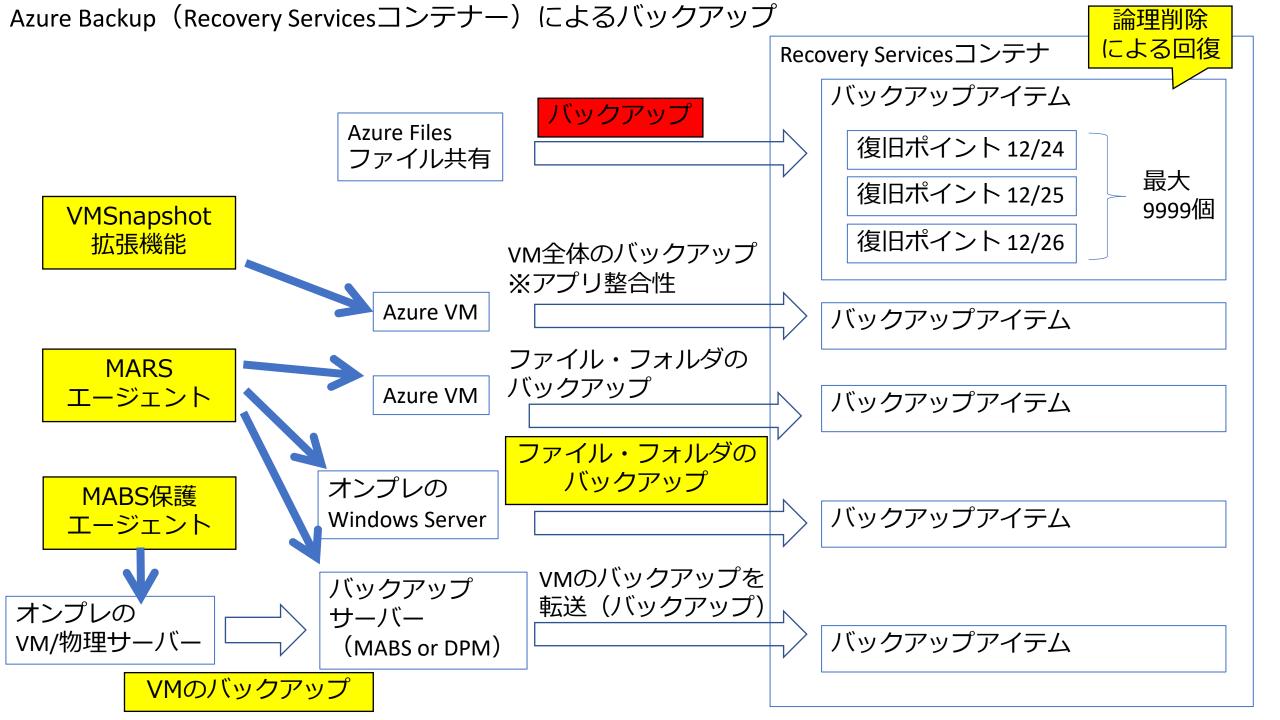
バックアップの 保存

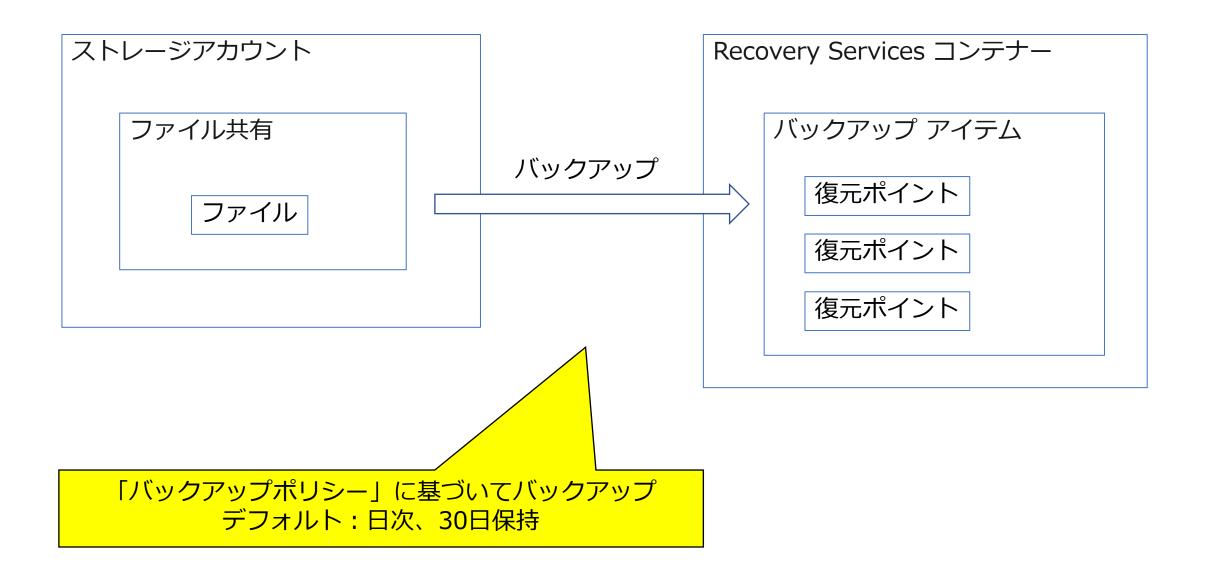
ファイル、

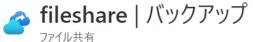
VMなどの

バックアップ

Recovery Services コンテナー (Recovery Services vault)







<< 🚄 概要 % アクセス制御 (IAM) 設定 プロパティ 操作 スナップショット

😭 バックアップ

Azure ファイル共有用の Azure Backup へようこそ クラウドへのシンプルかつ信頼性の高いファイル共有のバックアップです。詳しくはこちら。

次の情報を確認し、[バックアップの有効化]をクリックしてファイル共有の保護を開始してください。



X

fileshare-vault | バックアップ アイテム

Recovery Services コンテナー

最新の情報に更新

聋 概要

■ アクティビティ ログ

% アクセス制御 (IAM)

◆ タグ

り 問題の診断と解決

設定

Identity

<→ プライベート エンドポイント接続

プロパティ

□ ロック

はじめに

バックアップ

Site Recovery

保護されたアイテム

🛂 バックアップ アイテム

🛂 レプリケートされたアイテム

2 次領域

バックアップの管理の種類	バックアップ項目の数	
Azure Storage (Azure Files)	1	
SAP HANA in Azure VM	0	
SQL in Azure VM	0	
DPM	0	
Azure Backup Server	0	
Azure Backup Agent	0	
Azure Virtual Machine	0	

X

ホーム > Recovery Services コンテナー > fileshare-vault >

バックアップ アイテム (Azure Storage (Azure Files))

fileshare-vault





♪ アイテムのフィルター					
名前	↑↓ ストレージ アカウント	↑↓ リソース グループ	↑↓ 前回のバックアップの状態	↑↓ 前回のバックアップ日時	\uparrow_{\downarrow}
fileshare	test923742897342	filesharerg	❷ 成功	2020/10/27 午後3:25:02	•••



🜓 今すぐバックアップ り 共有の復元 り ファイルの回復

() バックアップの再開() バックアップの停止() バックアップ データの削除

基本へ

Recovery Services コンテナー

fileshare-vault

サブスクリプション名

Azure Pass - スポンサープラン 2020-10

サブスクリプション ID

a1e4fbf9-7099-4568-960e-1c7f6e730

アイテムの種類

Azure ファイル共有

ストレージ アカウント

test923742897342

前回のバックアップの状態

成功

前回のバックアップ時刻

2020/10/27, 15:25:02

バックアップ ポリシー

DailyPolicy

項目の状態

Active (最終同期時刻: 2020/10/27, 15:25:06)

ファイル共有単位で復元 (既存のファイル共有に復元 / 新しいファイル共有に復元)

ホーム > Recovery Services コンテナー > fileshare-vault > バックアップ アイテム (Azure Storage (Azure Files)) > fileshare >

復元

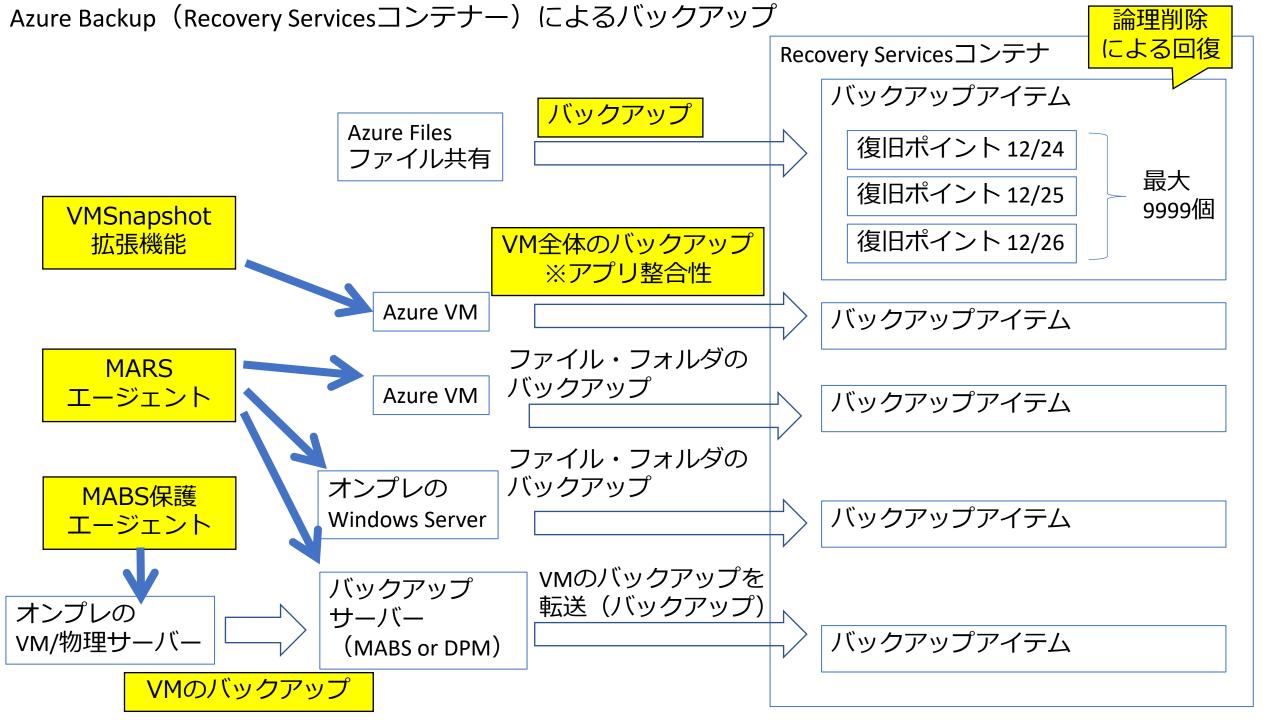


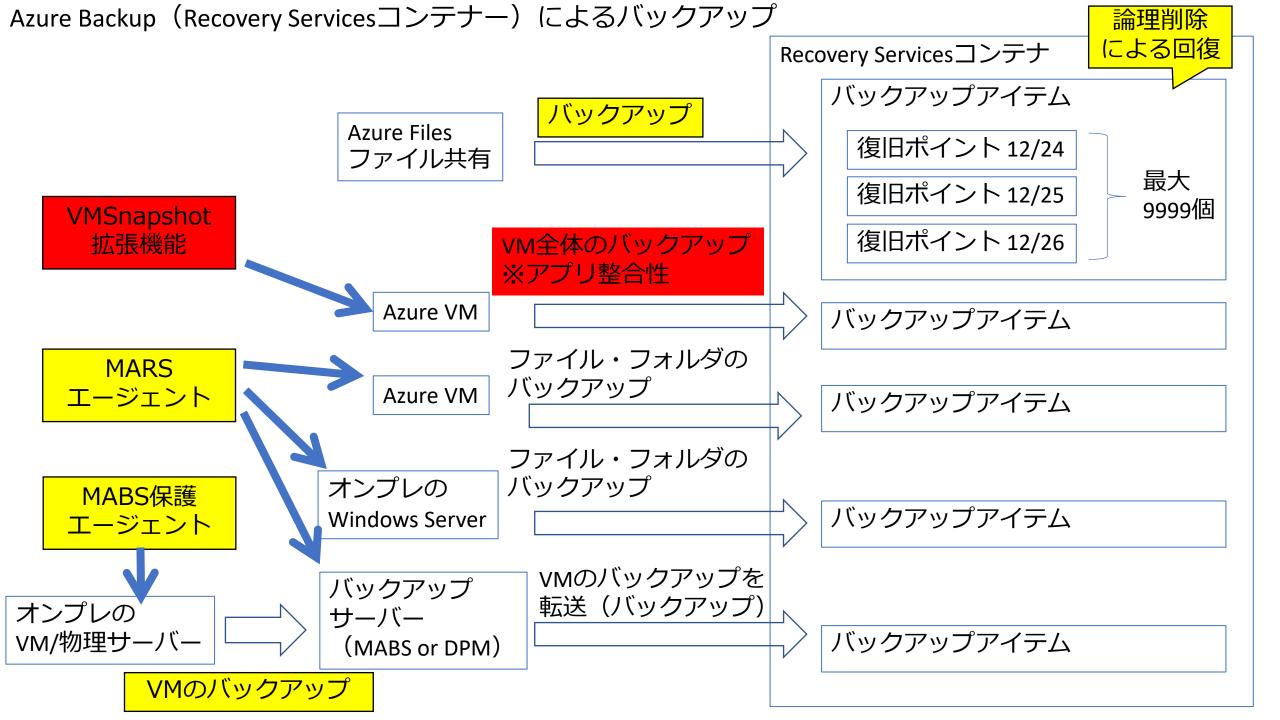
「ファイル共有」単位で、 過去の復元ポイントの状態へ復元

復元

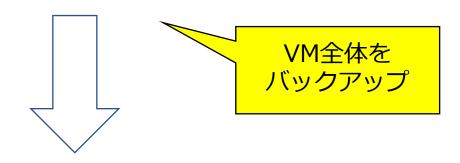


ファイル単位で復元

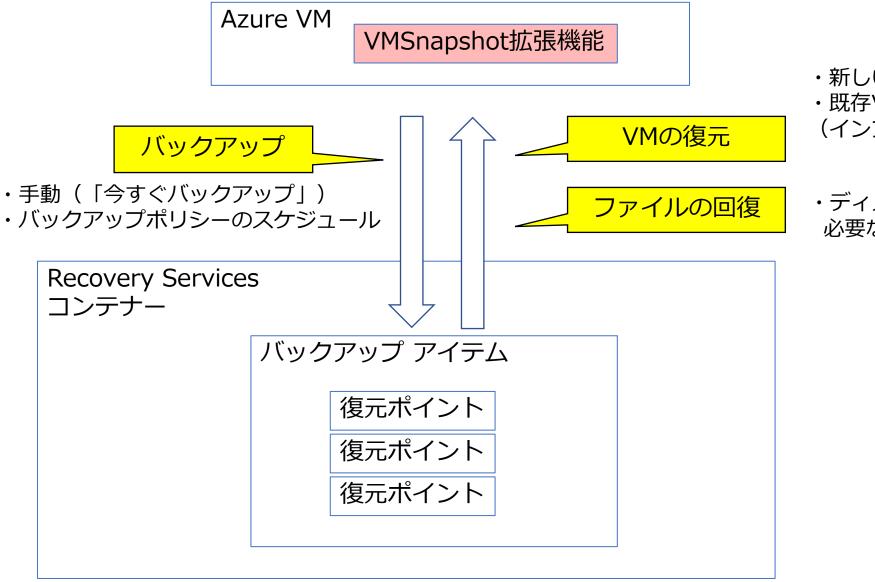




Azure VM VMSnapshot拡張機能



Recovery Services コンテナー

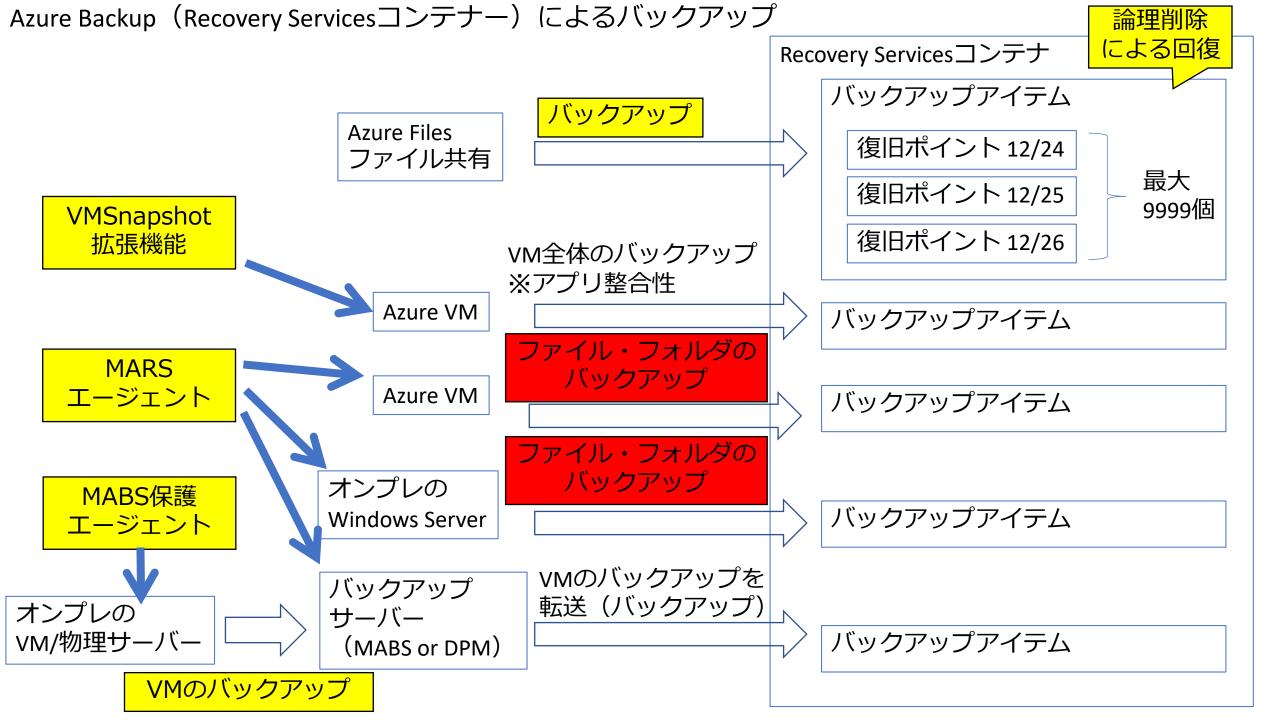


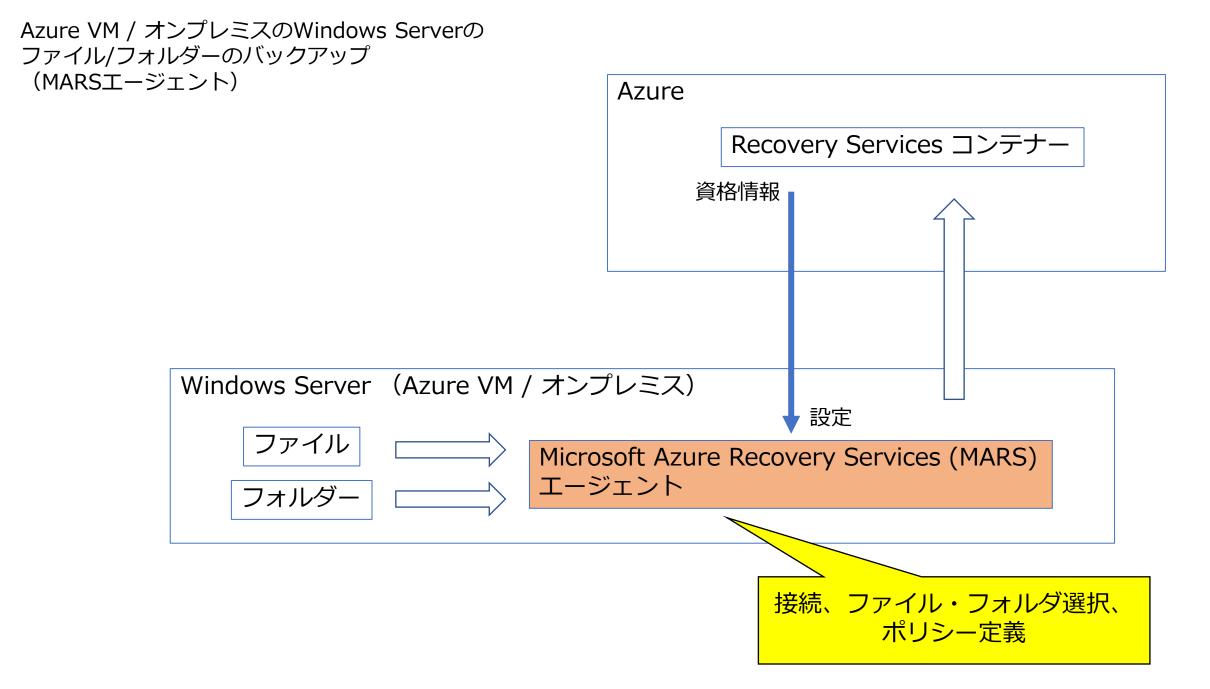
・新しいVMを作成

・既存VMのディスクを復元 (インプレース復元)

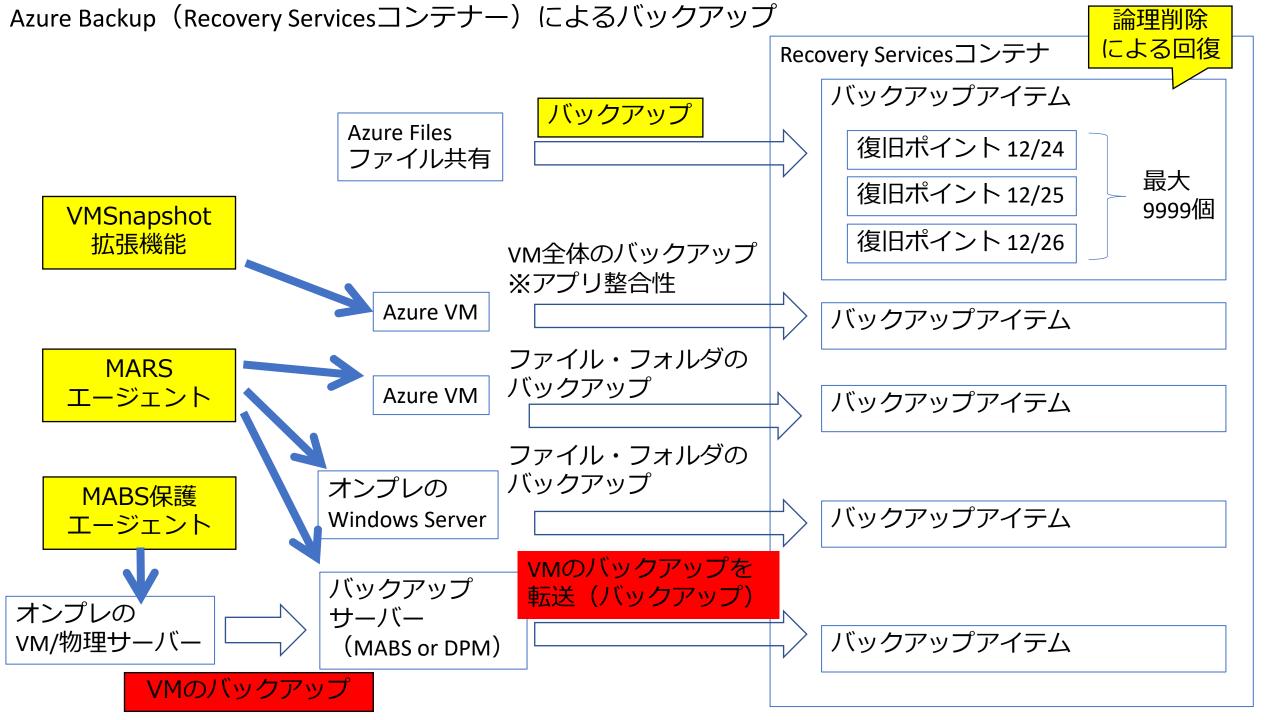
ディスクをマウントして必要なファイルを取り出す

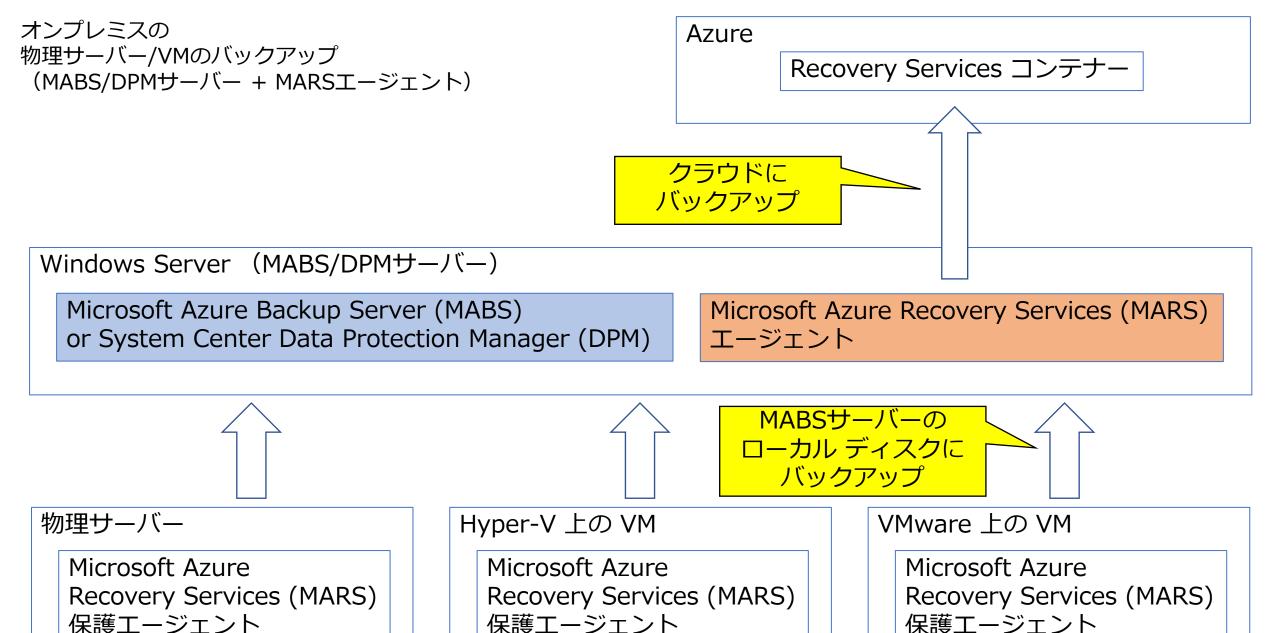
いずれかの復元ポイントを指定して復元





https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/backup/backup-support-matrix-mars-agent





https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/backup/backup-support-matrix-mabs-dpm